

NEWS RELEASE

No. 18-15

2018年12月10日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2017 年度本科講座の成績優秀者を表彰

2017 年度本科講座（6 クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位 10%以内の 73 名を成績優秀者として表彰した（成績優秀者は後掲）。本講座終了時の登録者数は 896 名、修了者数は 765 名で修了率は 85.4%であった。

さらに成績優秀者のうち各クラス上位 3 名（計 18 名）には「本科特別成績優秀賞」を授与することとしており、来たる 2019 年 1 月 21 日（月）に東京・大手町の KKR ホテル東京に於いて表彰式とともに昼食会・情報交換会を開催する。

本科講座は、損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、通信科目 8 科目とスクーリングで構成されている。

最終カリキュラムであるスクーリングは、今年 7 月～9 月に東京の損保会館にて、各クラス 2 日半の日程で実施され、全国から計 888 名が参加した。

スクーリング試験科目の講義と試験の他に、特別講義「コンプライアンス」（中央大学法科大学院・野村修也教授）、「グローバルな時代と日本経済」（慶應義塾大学大学院商学研究科・柏木茂雄教授）、「ゼロエネルギー時代の競争優位」（法政大学人間環境学部・長谷川直哉教授）やワークショップを実施した。ワークショップは、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科の講師陣を招き、「システム思考×デザイン思考でイノベティブに考える」をテーマに約 4 時間 15 分にわたる受講生同士のグループワークを通して闊達な討議や意見交換を行った。

今年は、台風、西日本豪雨、大阪北部地震、北海道地震などの大規模自然災害が相次ぎ、災害対応の傍ら学習を続け、スクーリングに参加する受講生も少なくなかった。

約 1 年に渡る学習を終えて晴れて本科を修了した受講生より以下のような感想が寄せられている。

- ・損保業界に携わるものとして深い知識を習得する良い機会と感じた。普段触れることが少ないアカデミックな内容を今後も提供し続けてほしい。
- ・長期間にわたり複数科目の課題や試験があったが、この講座を通して損害保険への理解が深まったとともに、自身の業務について考える良い機会となり、大変有意義に感じている。
- ・通信講座にスクーリングと、非常にバランスがとれて内容の充実したカリキュラムだと感

じた。

- ・課題発表の後、まず勉強時間の計画を立てることから始めた。途中、災害応援にも行ったが、応援先のホテルや新幹線での移動中に勉強する時間を見つけた。仕事と同様にいつまでに何をするか計画することが大事だと思った。
- ・本科講座の受講で、今までおざなりにしてしまっていた知識の習得に努めることができ非常に大きな財産となった。会社内だけではなく、業界内で同時期に同様の内容を学んでいる方たちがいらっしゃるということを思うと、負けていられないと自分を奮起することができた。
- ・入社後、数年のうちに受講すればよかったと感じた。何とか1年間続けることができ、これからもいろいろなことにチャレンジしていくことが可能だとわかった。学ぶことに年齢は関係ないと気づかされた。

【2017年度本科講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	通信科目受講期間	スクーリング
A	2017年7月～2018年4月	2018年7月4日～6日
B		2018年7月18日～20日
C	2017年8月～2018年5月	2018年8月8日～10日
D		2018年8月22日～24日
E	2017年9月～2018年6月	2018年9月5日～7日
F		2018年9月19日～21日

通信科目：保険総論、損害保険市場論、保険契約法、保険業法、リスクマネジメント、再保険論、事故対応実務の基礎、海上保険論

スクーリング試験科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
教育研修部 田中 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。